

議会だより



地域の人に教えられながら昔の食べ物を作る上春別小学校の子どもたち

主な内容

町長の行政報告（産業の動向 ほか）	2
議案の審議と結果（補正予算・条例 ほか）	3～ 4
<特集>平成19年度各会計決算認定	5
一般質問 5議員	6～13
議会のうごき（ロシア訪問 ほか）	14
委員会調査活動報告（総務建設常任委員会）	15

シリーズ

● 議会のまめ知識「全員協議会」	4
● 輝け！学校「上春別小学校」	16

平成20年第4回定例議会が12月17日から19日までの日程で開かれました。町長の行政報告を要約して掲載します。



今年の町内イベントはどれも盛況だった(写真はあきあじまつり)

町長の 行政報告

産業の動向

【酪農畜産】

北海道の生乳生産は前年比九・四%、当町は一〇・三%です。北海道の乳価は七十七・九円で、配合飼料価格は六万七千円、農家実質価格は約六万円と、前年比二八・四%高で、生産原価を四円ほど上回っています。乳牛市場の取引頭数は一〇・三%の減少、取引価格で一八%減です。

【道東あさひ農協が誕生】

町内の別海・西春別・上春別と根室農協による農協合併が平成二十年十二月四日各農協の臨時総会で、圧倒的多数の賛成で承認されました。

【水産業】

秋サケ漁は十一月二十八日終了しました。水揚げ量は別海漁協が前年比七一%、野付漁協は六四%、全町で三四%減の七千七百一トン、金額では一五%減の三十億七千四百万円に終わりました。秋サケの不漁対策として各漁協とともに、町も支援対策を考えています。

【商工業】

資金繰りを支援する相談窓口を商工観光課に設けました。また、金融機関に対して、商工業者への円滑な資金供給を要請しました。さらに町独自の緊急経営対策として、中小企業振興資金融資制度の充実や販売促進対策などについて商工会と協議を進めています。

【観光】

えびまつり、産業祭が天候にも恵まれ、管内イベント参加者数ベスト三に入る入り込み数となりました。観光全体の十一月ま

での入り込み数は、前年比九五・四%の二十八万一千六百人で、うち野付半島は、前年比八五%の十七万六千人でした。

町立病院の常勤医師着任

■小児科医師

武越靖郎先生(69歳)

先生は、昭和四十二年三月に北海道大学医学部を卒業され、札幌百合の会病院理事長などを歴任された後、今回別海病院に着任されました。



やさしく診察してくれる武越先生に子どもも安心

■産婦人科医師

佐藤正樹先生(39歳)

先生は、平成十二年三月札幌医科大学医学部を卒業され、市立室蘭総合病院などに勤務された後、今回別海病院に着任されました。

小児科は三月まで山本医師との二人体制、産婦人科は一月から山内副院長との二人体制となり、医療の充実と医師の負担軽減も図られることとなります。

12月定例議会と1月臨時議会で審議・決定された主な事項は次のとおりです。

12月 定例議会

12月17日～19日開催

条例を一部
改めました

◆国民健康保険条例

産科医療保障制度が平成二十一年一月から実施されるため、出産一時金支給額を三十五万円から三十八万円に引き上げました。

に改めました。

◆町立別海病院及び診療所使用料手数料条例

産科医療保障制度への加入・見直しに伴い分娩介補料を引き上げるといふもので、審議の結果、賛成多数で可決されました。

条例を廃止
しました

指定管理者を
指定しました

尾岱沼地区に設置していた施設が二度の大地震などにより、所期の目的とは違ったものとなったため、地域の実情に合った利用ができるよう、野付漁業協同組合に譲渡することとなったため、条例を廃止しました。

十一日で満了および四月に開設される左記の公の施設について、指定管理者を指定しました。

■マルチメディア館

(株)オーレンス

■酪農工場

(株)べつかい乳業興社

■農漁村加工体験施設

(株)べつかい乳業興社

■児童デイサービスセンターⅡ新設Ⅱ

(社会福祉法人)

北海道福祉事業団

平成二十一年三月三

議会に関する
規則の改正を
しました

滞納整理機構
規約の変更を
承認しました

釧路・根室広域地方税滞納整理機構への加入にかかわって、機構規約の一部を変更するもので、審議の結果、賛成多数で承認されました。

◆町立別海病院設置等に関する条例
診療科目に心療内科を加え、九科から十科

◆漁村センター条例

平成20年度補正予算

補正額

予算総額

◇一般会計(4回目の補正)	1億7,020万円 減	156億3,920万円
◇下水道事業特別会計(2回目の補正)	8,545万円 減	11億6,296万円
◇介護サービス事業特別会計(1回目の補正)	3,550万円 減	8億3,170万円
◇後期高齢者医療特別会計(1回目の補正)	1,585万円 減	1億2,486万円
◇町立別海病院事業会計(1回目の補正)	3,362万円 増	18億9,789万円
◇水道事業会計(1回目の補正)	1,020万円 減	8億5,365万円

一般会計の主な補正

・特定防衛施設周辺整備事業	7,130万円増
・福祉灯油購入扶助費	633万円増
・地域総合整備資金貸付	1億7,000万円減
・防衛施設周辺障害防止事業	4,500万円増

病院事業会計の主な補正

・医療機器整備	2,786万円増
・医師採用等による給与費	1,136万円増
・給与費	1,045万円減

※その他の会計の主な補正内容

下水道事業会計	給与費1,136万円減ほか
介護サービス事業会計	給与費4,020万円減ほか
後期高齢者医療会計	後期連合納付金1,617万円減ほか

◆別海町議会会議規則

提出者 議会運営委員会
委員長 佐々木春男 議員

地方自治法の一部改正を受け、議員の法的身分を明確化するため、議案の審査、議会運営に関する協議・調整を行う場として「全員協議会」を新設しました。

12月
定例議会

1月
臨時議会

1月7日開催

平成20年度補正予算

補正額

予算総額

◇一般会計（5回目の補正）

1,010万円 増

156億4,930万円

一般会計の主な補正

・緊急雇用対策事業

1,010万円増



新任された
藤原 優子さん

委員の推薦を
承認しました

◆人権擁護委員の推薦

西村兼太郎さんの退任に伴い、藤原優子さん（中春別）の推薦を承認しました。任期は、平成二十四年三月三十一日までの三年間です。

条例を一部
改めました

◆手数料条例

オウム真理教犯罪被害者などを救済するための給付金を申請するに当たり、戸籍謄本が必要ですが、その申請手数料を免除するように改めました。

財産を取得し
ました

◆小型動力ポンプつき

水槽車
指名競争入札で（株）北海道モリタが落札しました。
契約金額は四千五百五十九万九千円です。

◆中型バス（スクールバス）
指名競争入札で東北海道日野自動車（株）中標津営業所が落札しました。
契約金額は一千六百萬八十万円です。

委員の任命に
同意しました

◆教育委員会委員の任命

任期満了に伴い、山口長伸さん（別海）の再任と、池田實さんの後任に伊勢浩子さん（尾岱沼）を任命することに同意しました。任期は、平成二十五年

年二月十五日までの四年間です。



新任された
伊勢 浩子さん



再任された
山口 長伸さん



13年間働いたスクールバス「ひとみ1号」が更新されることになった

議会のまめ知識

全員協議会

地方議会は、本会議や委員会などの法律上の議会活動のほか、従来から議会における議案の審査や議会運営の充実を図るため「全員協議会」などが開催されてきましたが、これは正規の議会活動とはされていませんでした。
今回地方自治法の改正により、これらの議員の活動については会議規則に定めることにより、法律上の議会活動として明確化されました。
当町議会では、十二月定例会で会議規則の一部改正を行い、公務災害保障制度の公務としての位置づけをしました。

平成19年度 各会計決算を認定

12月定例議会は、決算審査特別委員会（戸田博義委員長）の報告を受け討論・採決をし、一般会計は賛成多数、ほか5特別会計・2公営企業会計は全会一致で認定しました。

平成19年度各会計決算

	歳 入	歳 出
一 般 会 計	140億9,614万円	139億8,662万円
国民健康保険特別会計	23億9,131万円	24億4,250万円
老人保健特別会計	13億1,893万円	13億1,893万円
下水道事業特別会計	7億7,118万円	7億7,093万円
介護サービス事業特別会計	8億1,768万円	8億1,743万円
介護保険特別会計	8億4,711万円	8億2,955万円
町立別海病院事業会計	16億3,747万円	17億1,421万円
水 道 事 業 会 計	6億7,672万円	5億1,686万円

決算審査特別 委員会の報告（概要）

今回の審査は昨年引き続き、事前に質問を取りまとめるなど効率化を図り慎重に審査しました。

十一月十二日理事者の出席を求め指摘した概要を報告します。

①一般会計は、実質収支で一億五百九十五万一千円の黒字決算となつていますが、依然として財政の硬直化を示しています。特に道の許可を必要とする実質公債比率は警戒ラインを0・2ホ

- ② 町税などの収納対策は、要因の分析をし、きめ細かな対応を取り一層の収納効率の向上に努める必要がありま
- ③ 各種路線バス運行路、ネットワークの検証が必要です。
- ④ 国民健康保険の赤字解消の抜本的な見直し施策が必要です。
- ⑤ 病院事業会計では、

一般会計決算に対する討論

反対意見

（中村議員）

- ① 公団事業の不能欠損金・滞納繰越額が十三億円あり町の財政負担となるのに、責任の所在が不明確なこと。
- ② 国営環境保全型かんがい排水事業は総事業費が一十億円を超え、未熟な農業技術に巨額の税金を投入していること。

- ③ 一般廃棄物処理を広域連合で処理することにより新たな経費負担がかかり、経費節減になつていないこと。
- 以上の点を指摘し、認定に反対します。

賛成意見

（福原議員）

当町は自主財源の少ない財政の中で、積極的な行政改革に取り組

み、財政調整基金を十億三千万円確保し、また、一億五百万円の黒字となつたことは健全な財政運営の結果です。来年度から新しい総合計画のスタートに向け自立の道を歩んでいくための地盤づくりができました。

これからも町民のニーズに応えることのできる財政運営を心がけ、効率的で将来にわたる健全な財政運営を期待しながら認定に賛成します。



さらなるネットワークづくりが求められる町内路線バス

町政の ここが聞きたい

12月定例議会では第2日目(12月18日)に5議員が一般質問をしました。その内容を要約して掲載します。

■中村忠士 議員

- 1 中・小規模酪農の育成を……………6
- 2 国営かんがい排水事業は問題が多い……………7
- 3 米海兵隊移転訓練の集中化は明らか……………7

■安部政博 議員

- 1 酪農対策に、より強力な要請活動を……………8
- 2 自然エネルギーの活用を……………8
- 3 プレミアつき商品券の発行を……………9

■佐藤初雄 議員

- 1 中小企業・商工業者へ町独自の支援対策を……………9
- 2 酪農畜産への経営安定対策を……………10
- 3 国民健康保険の無保険児救済を……………10
- 4 太陽光エネルギーの普及促進の方針は……………10
- 5 町営育成牧場の経営改善は……………11
- 6 全国学力テストの結果と今後の対策は……………11

■瀧川榮子 議員

- 1 後期高齢者医療の資格証明を発行しない取り組みを……………12
- 2 消防広域化推進計画の取り組みは……………12

■丹羽勝夫 議員

- 1 酪農工場の今後の経営方針は……………13

中村議員

中・小規模酪農の育成を

町長 多様な形態に対応します

中村忠士議員

五年間で町内の離農が百十戸を超え、平均農業所得率も年々下が

る傾向にあります。私が提示した資料(別表)では、低投入型中規模酪農(いわゆるマイペース酪農)と、ある農協の平均値を比較すると明らかに所得率・額ともに低投入型の方が上回っています。別海酪農の方向性の一つのヒントがここにあると思います。

水沼町長 規模については、経営者の方針やポリシ

法があります。いろいろな形態に対応できるようにしたいと考えています。

質問

飼料の自給率の向上や放牧酪農の推進は、別海町の風土に合った持続可能な酪農を進める上で重要です。しかし、穀物相場が下がってきている中で自給飼料・放牧に向けた視点が、また輸入穀物の方にシフトする可能性があります。

また輸入穀物の方にシフトする可能性があります。

■別表 低投入型酪農の所得と所得率(平均値との比較)

	低投入型平均	A農協平均
粗収入	2,671万円	4,595万円
所得	1,101万円	907万円
所得率	41%	19.7%
草地当たりの所得	20万円/ha	11.3万円/ha

※低投入型平均=マイペース酪農交流会の酪農家9戸の平均

■別表 農業所得率の推移(町内4農協平均)

平成16年度	24.5%
平成17年度	22.9%
平成18年度	20.4%
平成19年度	19.5%

中村産業振興部長代理 世界的な流れから見ると、穀物・食料・エネルギーの逼迫状況は変わりません。したがって、飼料の自給率を高めるといふ基本は変わることはいと考えています。

中村議員 国営かんがい排水事業は問題が多い

産業振興部長 経費節減など 評価する意見もあります

続けます。
町に移管される施設の維持管理費はどれくらいかかと想定していますか。

秋森産業振興部長

肥培施設については全額受益農家が負担します。

別海南部、西部両地区の維持管理費については、西部地区の取水井戸の電気代など年間三百九十万円、また用水路の補修などで二百七十万円、排水路の草刈り、土砂上げなどで千二百万円がそれぞれ見込まれています。

質問

ふん尿の二〜三倍希釈、六〜八時間のばつ気という肥培施設の基準どおりの運用を続けるとランニングコストはどうなりますか。

秋森産業振興部長

年間八十万円というのが計画上の数字です

が、希釈倍率、ばつ気時間、それぞれまちまちですので、実態把握を開発建設部にお願しているところですが、

質問

調査不足のまま一千万円の公共事業が進むこと自体問題です。事業に参加している

中村議員 米海兵隊移転訓練の集中化は明らか

町長 集中化しないよう強く要請します

中村忠士議員

米海兵隊移転訓練は平成十九年、二十年の二年間で延べ七回、全国で予定されていますが、矢臼別以外は全部中止になりました。移転訓練が矢臼別に集中してきていることは誰の目から見ても明らかです。

水沼町長

集中化・固定化がないよう、さらに強く要請していきます。



矢臼別演習場での小火力実弾射撃訓練（米海兵隊ホームページより）

人にも苦情があります。

秋森産業振興部長

制度上可能な意見については開発建設部に

質問

ブリーフィング（説明会）、訓練公開、事前の情報開示はありませんでした。この点についての見解は。

水沼町長

まことに遺憾だと考えています。矢臼別演習場関係機関連絡会議を通じて、

質問

小火器の実弾射撃も行なわれて

要望していきます。

しかし、経費節減、環境保全の点で評価する意見もあることをご承知おきください。

います。小火器の中には射程距離が三・七kmというものもあります。射場から国道までの距離をすぐ把握してください。

今回は白リン弾を二十発撃っています。

水沼町長

小火器は小銃、拳銃、機関銃と承知して使用したかは承知していません。

また、射場から国道までの距離についても承知していません。

白リン弾については自衛隊も黄リン弾という名称で一般的に使用しており、環境に影響を与えるものではないと聞いています。

酪農対策に、より強力な要請活動を

町長 関係団体と連携を強化します

安部政博議員

乳価は上がりますが、酪農家には今までのツケの部分も多く厳しい状況が続きます。酪農経営の安定のために自治体と系統団体が強固な協力関係を持った運動が必要です。

水沼町長

農家の皆さんは努力されていますが、今ま

での蓄積を吐き出している現状です。町も議会の協力を得て国へ直接、独自の要請をしているところですが、関係団体の協力をいただき、なお一層強く国に要請できる形をつくります。

質問

供給地としての責務を考えた場合、コストを犠牲にしても生産を上げなければならぬ現状もあります。より強力な要請活動のために系統とのスクラムが必要です。根室地区酪対に町、そして議会の産業常任委員会が参加できるよう検討してはいかがでしょうか。

秋森産業振興部長

議会については承知していませんが、地区酪対には既に町は参加しています。

安部議員

自然エネルギーの活用を

町長 太陽光発電に補助します

安部政博議員

風力や太陽光など自然エネルギーの活用にごどのように取り組みますか。

水沼町長

当町では平成十年度にNEDO | 新エネルギー産業技術総合開発機構の補助を受けて別海町地域新エネルギービジョンを策定しました。

その中で当町としては、ふん尿処理にかかわるバイオ



自然エネルギー活用のホープとして注目される太陽光発電

ガスプラントの導入に取り組んできました。

そして国では、二〇〇九年度概算要求に太陽光発電導入に対する補助を二百三十八億円

計上しました。

当町においても日照時間が長いという好条件もあり、国の補助に合わせ、新年度に町単独の補助を検討します。

質問

地球温暖化対策に当町でも町民に分り易い具体的な目標を掲げた取り組みが必要です。

中村産業振興部長代理

道では三つの心、八つの具体的な行動について提言しています。当町でも平成二十年三月に別海町地球温暖化対策実行計画を策定し、職員一人一人の行動指針も示しています。町民の皆さんには、植樹運動、ゴミの分別減量化促進に取り組んでいただいています。また、資源を地域内で循環する地産地消を進める点ではバイオガスの利活用が進められています。

自然や、河川環境保全活動では自主的な組織の活動の取り組みが進められています。

町民の皆さんが進んで参加できる保全活動の啓発に努めます。今後「農地・水・環境保全向上対策事業」などを進めながら環境と調和する自然循環機能を重視した酪農・畜産の実現を目指します。

質問

より具体的な取り組みとして、今回発足した四JAによる新JAの全組合員に面積を定めた植樹を記念事業として提案してはいかがでしょうか。

水沼町長

大事なことなので検討していきます。町民の皆さん一人一人が意識を高め、何ができるか町としても啓発活動を含めて努力していきます。

安部議員

プレミアムつき 商品券の発行を

町長 早い時期に実施します

安部政博議員

大型店舗の出店が続きます。地元商店街の活性化、地域振興のためにプレミアムつき商品券の発行を早急に行う必要があると思います。

券の発行をすべきです。

水沼町長

商工会からは来年度やりたいとの要望があります。その時期、総額、補助金を早急に詰めていきます。

また、商工業が商店街を含め、どう維持、発展していけるか、活性化に向けて支援していきます。

質問

町長がコープさっぽろに対して町有地の貸与を予定より早くきめた理由のひとつとして地元高校生の就職のためとも説明されています。

町として両大型店に對してどのようなアプローチをしていますか。

質問
当町では店舗数も販売額も減少が続いています。商店街に対して早急に手厚い対策が必要です。より早く商品

水沼町長

フクハラでは高校生は管内から一人でも他町からの採用が決定しています。今後は一月に

佐藤初雄議員

世界的な金融危機の影響なども加わり、景気の低迷、悪化などから事業実績が思わしく

社会人を対象にパートを含めて求人案内をする予定と聞いています。コープさっぽろには地元高校生、社会人の

雇用問題や障害者にかかわることなども要請してきています。一月下旬までに高校生を含め採用を決定する予定

ない状況下にあります。国の総合経済対策もありますが、町独自の支援対策拡充を図りながら、この難局を打破すべきと考えます。

秋森産業振興部長

具体的な実態は把握していませんので、今後商工会を通して、意識調査なども検討します。

水沼町長

国の総合経済対策の相談窓口を商工観光課に設置し、また金融機関に対し、円滑な資金供給を要請しました。プレミアム商品券の発行を協議しています。中小企業振興資金融資制度を充実し、二%の利子補給を行います。

質問

大型店舗進出に伴い既存の商店街への総合的体質改善強化策、また、町への要望、要請に実態を含め、今後の対応をどのように考えていますか。

水沼町長

大型店舗の進出に對

中小企業・商工業者へ 町独自の支援対策を

佐藤議員

町長 2%の利子補給を行います

質問
空き店舗、後継者対策の意識調査、要望などの把握はどのようになっていますか。



別海への出店が決まり建設が急ピッチに進むフクハラ

議員 佐藤
**町独自の酪農畜産への
経営安定対策を**

町長 利息軽減の支援をします

議員 佐藤初雄

二十年度の組勘赤字
件数、総金額は。

議員 土井農政課長

十一月末現在五百六
十四件、約二十七億円
です。

質問

精算方法の内容は。

議員 秋森産業振興部長

(答弁を別表にまとめ
ました)

質問

証書貸付、牛の確保
対策など、中長期的展
望に立った町独自の支
援施策が必要です。

議員 水沼町長

乳牛留保資金として

別表 平成20年度組合勘定精算予定表 (平成20年11月現在) (単位:円)

合計	精算方法						
	貯金	現金	家畜共済	固体販売	借入		
					乳牛留保 (プロパー資金)	緊急支援 (信連資金)	その他
27億1,500万	7億4,600万	1億8,000万	3,900万	3億5,000万	2億5,000万	4,600万	11億2,500万

末端金利1%程度にな
るよう利息軽減の支援
をします。

質問

本年度、町と議会が
ともに中央要請運動を
展開しました。

更なる拡充強化に向
けた、国、道への運動
展開が必要と考えます。

議員 水沼町長

より連携を強力にしな
がら、現場の声を届けな
ければと考えています。

議員 佐藤
国民健康保険の無保険児救済を

福祉部長 現在は、資格証明書の
交付者はいません

議員 佐藤初雄

資格証明書の交付は
一時的に医療費を全額
負担しなければなりま
せん。

症状も初期に受診す
れば回復も早く、医療
費も少なくて済みます。

議員 佐竹福祉部長

国に対し救済の強力
な要請活動を展開すべ
きと考えます。また、
当町の対象者数をお知
らせください。

です。

質問

今後の町独自の対応
策、取り組みについて。

議員 佐竹福祉部長

本年十月一日の国保
証更新時に、資格証明
書の事務取り扱いの見
直しを行い、義務教育
在学中は、資格証明書
の適用除外としました。
現在、中学生以下の
子供には、資格証明書
の交付者はいません。

に継承していきますか。

議員 水沼町長

当町は循環型の産業
構造ですので、環境の
面でも、バイオマス構
想は今後も取り組んで
いきます。

新たな、地域にあっ
た有利な資源エネルギー
の活用をしていくとい
う流れで太陽光発電に
今後注目していきます。

議員 佐藤
**太陽光エネルギーの普及
促進への町の取り組み姿勢は**

町長 太陽光発電に
注目していきます

議員 佐藤初雄

太陽光エネルギーは
気温が低くても、発電
効率が良く、二酸化炭
素の発生もなく温暖化
対策にもなります。

産業の活性化、雇用
の創出にもなります。
クリーンエネルギー、
太陽光発電の取り組み
を今後どのように展開
していきますか。

質問

バイオマス構想と関
連して、今後どのよう

佐藤議員
町営育成牧場の改善は

産業振興部長代理 経営改善に

努力していきます

佐藤初雄議員

町営育成牧場は、離農・休農などで入牧頭数も減少傾向です。過去五年間の収支状況、牛馬の事故、伝染病対

策などの実施状況はどうなっていますか。

土井農政課長

(答弁を別表にまとめました)

質問
収支のマイナスの一番の要因は。

中村産業振興部長代理

入牧頭数に合った資材が投入されていませんでした。また長期間草地更新されず牛の増体成績が悪く入牧頭数の減少となりました。今後、預託農家の意見も踏まえどう改善すべきか取り組んでいきます。

質問

今後の経営改善の方法は。

全国学力テストは、義務教育の水準向上を目指すということを実施されています。秋田県では、四十数

佐藤初雄議員

全国学力テストの結果の検証と対策は

教育長 行政・学校・家庭の責任で何とかするという気持ちです

中村産業振興部長代理

早期の入牧で牛の体調を整え、集約放牧で草地自体の改善、肥料を軽減し、収支の改善

を図ります。

冬季の預託牛は希望も多く、現在百二十頭ですが、必要なら最大限の投資も図りながら

経営改善に努めます。

育成牧場の役割は、地域の酪農、畜産に必要な情報提供も大切と考えています。新技術、

新草種の適性試験もやっていきます。

信頼性の高い育成牧場運営に向け努力していきます。

質問

長所を伸ばし短所を改める必要があります。今後の対策は。

山口教育長

行政、教師、保護者、子ども各位が謙虚に反省すべきです。別海高校生も三五%

が家庭で勉強しない実態です。

子どもを育てるのは家庭、保護者、学校、地域であり大きな責任感を背負えば何とかなる、必ず何とかしてやる、そんな気持ちでいます。

山口教育長

北海道は小学校では四十六位、中学校では四十四位で、当町もほぼ同じ傾向です。

質問

秋田県は特異な取り組みが行われましたか。

山口教育長

県費で教員配置をし、少人数指導また、本の好きな子、塾通いしない子、家で勉強する子、ともに全国一位です。



楽しい学校でこそ学力は伸びる

後期高齢者医療の資格証明書を発行しない取り組みを

瀧川議員

瀧川榮子議員

後期高齢者医療制度では、保険料を一年間以上滞納した被保険者から保険証を取り上げる仕組みが導入されました。高齢者からの保険証の取り上げは命に直結します。無保険者を出

福祉部長 滞納ないように制度の説明をしていきます

さないための取り組みをお聞きします。

佐竹福祉部長

納付を忘れている方もいると考えられますのでこれから先、戸別訪問などを行い、制度を十分説明し納めていただくように努力します。

質問

当町でははじめから七割・五割・二割軽減の方がたくさんおり、未納になりやすい条件になっています。

広域連合では、各自治体の個々の状況はわかりません。資格証明書を発行しないための最大限の努力が必要です。

佐竹福祉部長

最終納期がまだ来ていませんので、来年の最終納期までに理解を得て納付していただくよう努力します。

瀧川議員

消防広域化推進計画の取り組みの現状は

総務部長

問題も数多くあり慎重に

検討してまいります

瀧川議員

消防広域化推進計画に対して、取り組みの現状をお聞きします。

飯島総務部長

根室管内広域化より釧路・根室地域広域化のほうがメリットを見いだせると考え、釧路管内の市町村と共に検討して行きたいと考えています。

質問

消防の職員充足率は七九%です。人員の充足は要です。少ない充足率の中で、広域化はさらに人員不足になりますか。

飯島総務部長

応援体制にもよりませんが、検討していかなければならぬ問題も数多くあります。

質問

面積が広く応援があっても地理不案内など、防災上、障害になる不安はありませんか。

飯島総務部長

人口密度や地理的条件に関して、他と同じ考え方で広域化を進めることには限界があると思っています。広域化によって消防力が低下することのないよう、慎重に検討していきます。

質問

広域化しなくても今

の応援協定で可能ではないかと思いますが、いかがですか。

飯島総務部長

無線のデジタル化に伴い非常に多額のお金がかかります。広域化による本部の一元化はそういった面でもメリットがあります。

質問

任命権者が違うことで指揮の統一が図られないと考えますが、いかがですか。

飯島総務部長

今の消防法で行くと

そう変わらないと思います。

質問

広域化については自主的な判断がもたられており、内容の吟味と情報公開を行い、住民の安全を守る視点で判断する必要があると思います。いかがですか。

飯島総務部長

現段階では先行きが見えず控えています。今後、状況を住民の皆さんに広報などでお知らせしていきたいと考えています。



日ごろから厳しい訓練を怠らない消防隊員

丹羽議員

酪農工場の今後の経営方針は

町長 ハサップの取得を

目指します

丹羽勝夫議員

乳業興社の経営診断の入札状況・内容についてお尋ねします。

小守総務部長代理
入札執行日は、平成



ハサップの取得をめざす乳業興社

質問

中山間事業終了後、乳業興社に対し、一部旅費、販売促進のサンブルなど特に福祉牛乳が町として関わってきます。

ハサップ取得についてもいまだ認可が下りていません。今回の調査内容に入っているのか再度確認します。

秋森産業振興部長

中山間事業は平成二十一年度まででありますので、今まで同様取り組んでいきます。ハサップの取り組みは、コンサルタンの指導を受けながら年度内の取得を目指します。

質問

中山間事業・ハサップ取得は、町とのかかわりは一切ないと断言していましたか再度確認します。

水沼町長

コンサルタント会社

質問

がたまたまハサップに詳しいということでも相談していますが、今年度中に申請を出せる見通しになったので、委託の必要がないと判断しています。

質問

酪農工場の中にある乳加工体験施設の管理を年間五百二十万円で委託していますが、ほとんどが労務費に充てられ、決算時に赤字に計上されます。積算に問題はありますか。指定管理者の区分についても今回の調査対象にはいかがですか。

秋森産業振興部長

人件費、光熱水費、その他経費について適正な算定と理解しています。

質問

適正な積算になっているか第三者のコンサルタントに検討してい

ただきたいと思えます。

水沼町長

要請があれば委託料の根拠をお知らせします。

質問

町長が第三セクターの社長になっているのはいかがなものでしょうか。

水沼町長

専門家にやっていただくのが当然だと思えます。なるべく早く社長にふさわしい、専門家の方にやっていただく体制に持っていきたいと思えます。

質問

平成二十年一月に実施された町の監査指摘事項に、①職務規定が変えられて実態と合っていない。②会計責任者が規定上明確になっていない、とあります。けん制機能がないの

ではないでしょうか。

秋森産業振興部長

平成二十年六月二十日付けで改正しました。

質問

役員変更の登記手続きがされず、議事録もありません。商法上無効となりますがどうしましたか。

最小限の機能がなされていない不手際に対して責任者の処分はありましたか。

責任者から辞職願が出されましたがどのように引き止められましたか。

水沼町長

大変遺憾なことで、今後適正に対応するよう要請します。辞職願の件は、この場ではお答えできません。

議会のうごき



町内視察で産業廃棄物処理施設を見学する当町議会議員

三常任委員会合同町内視察調査

(10月23日)

町内各施設の建設進捗状況などの現地視察調査を行いました。

水産物鮮度保持施設は、原魚漁獲量低迷の中にあつて加工製品の入出庫はともに微増傾向にあるが、今後も継続的に処理量を伸ばしていくべきであると判断しました。

西春別TMRセンターは、JA西春別が中心に事業を展開し、(有)ウエストベースが運営を行い、コスト削減などにより事業の効率化と、自給飼料の適正管理を進めながら、順調に行っていることを確認しました。

体験活動推進事業・学校統廃合についての調査では、子どもたちの教育環境が整備されつつあるが、教室の狭隘問題や地域に根ざした教育事業の展開には、若干時間を要しそうです。

産業廃棄物処理施設や指定管理施設マルチメディア館の運用状況は、概ね順調であることが確認されました。(松原委員)

十二月五日中標津町議会議場で、一部事務組合議会および広域連合議会の定例会が開催されました。

今回は主に平成十九年度一般会計決算について審議し、承認・議決されました。

中標津町外二町葬祭組合

一般会計決算

(歳入) 6,126万円 (歳出) 6,126万円

根室北部消防事務組合

一般会計決算

(歳入)14億 880万円 (歳出)14億 880万円

根室北部一般廃棄物処理広域連合

一般会計決算

(歳入) 5億4,355万円 (歳出) 5億3,209万円

広域連合・一部事務組合の議会報告

ロシアを訪問

(10月19日～24日)

北方領土復帰期成同盟の堀達也会長を団長に団員八人、随員四人の計十三人で「北方領土相互理解促進対話交流使節団」の一員として、ロシアを訪問しました。

ロシア連邦議会の国家、連邦院の議員や外務省の官僚と、計八回の対話交流を行いました。私たちが使節団は、北方四島を「不法に占拠された」「我国固有の領土」と明確に表現してロシア側に訴えました。しかし、ロシア側の

見解は「日本の主張も分かるがロシアの立場も理解して欲しい」と明らかに認識の違いを感じました。また、学校教育の中で「北方領土問題については触れていない」とも言っていました。認識の相違を埋めるには、元島民や近隣市町村の心情を訴えるだけでは限界があると強

く思いました。民間の経済交流や人道支援、対話交流も大事なことです。最終的には国家間の粘り強い交渉がぜひとも必要になると感じました。(横堀副議長)



ロシア代表(右)と会談する交流使節団

現計画の達成度を検証する

総務建設常任委員会 池田幸雄委員長

第五次別海町総合開発計画（平成十一年～二十年）の基本計画に対して、計画期間十年のうち九年が終了した時点で自己点検と評価について調査しました。

現計画は大きく四つの体系となっており、達成度・評価・課題などについてまとめ、全体評価として七十二点となつています。おおむね順調に進捗しているものと判断しました。

各体系・分野ごとの達成状況や課題を十分に踏まえ、次期計画に反映すべきです。

特に、評価が低かつた「フレンドリー」は、職員的能力向上などさらなる行政改革の必要性や協働体制の確立を図る必要がありま

す。全体としては、行政と住民とは評価観点から、そのことも勘案して、第六次別海町総合計画を策定すべきものと判断しました。



現計画をしっかりと検証し次期計画につなげたい

現計画の点検・評価

分野	評価
広大な自然に抱かれた豊かな暮らし【ハイクオリティ】	都市基盤・生活環境分野 77.1点
北の大地と海に根づいた活力ある産業【チャレンジ】	産業分野 70.5点
しあわせを実現する町民の笑顔【ハピネス】	教育・福祉分野 71.0点
ふれあいで花咲くまちづくり【フレンドリー】	交流・住民参加・行財政分野 69.9点

平成二十一年度予算編成方針は、将来を見据えた施策の展開の観点から、今後の財政運営の健全性や弾力性の確保が課題です。

平成二十一年度予算編成方針

歳出総額の抑制を図

公営住宅の整備計画

公営住宅の整備計画については、平成十九年度に策定した住宅マスタープランに基づき、公営住宅のストック計

画の見直しを含め、公住の老朽化、建設年度などを勘案して、建て替えを進めることを確認しました。

り、簡素で効率的な財政運営に務め、自立の道を歩むために財政構造の構築を図ることを確認しました。

国営事業に伴う水道管路改修など

国営環境保全型かんがい排水事業における水道事業配水管路については、共同事業により石綿管の解消を進めることを確認しました。



石綿管から塩化ビニール管へのとりかえが進む



地域の人から昔の遊びを熱心に習う子どもたち

上春別小学校

本校の今年度の重点の一つに「ふるさとを愛する子ども」の育成があります。地域の素材を学習したり、地域の皆さんを学校に招き、いっしょに活動したりすることを通してふるさとに興味を持つよ

うに取り組んでいます。長寿会の皆さんに祖父母交流会などに来ていただき、昔の遊びを教えていただいたりして、お年寄りの皆さんとの交流を深めました。地域のサークル「つくろつと」の皆さんに協力をお願いし、そばパンなど、昔の食べ物をいっしょにつくって食べたりしました。昔の話を聞きながら、おいしく食べ、普段あまり接することの少ない地域の皆さんと楽しく過ごすことができました。

五・六年生は総合学習で、上春別のことを地域の人に聞いてまわり、たくさんの興味深い話を聞き、上春別への愛着を深めました。地域の皆さんの暖かいご協力により、子ども達には「ふるさとを愛する」気持ちが育まれてきています。

編集後記



食品の偽装事件が一年間を通して数えきれない位多く発生しました。内閣府が実施した食料品の世論調査では、食料品を買うとき、輸入品より国産品を選ぶ人が八九・〇％、また、「食料自給率を高めるべきだ」との回答も九三・二％を占め、輸入食品に対する信頼感が著しく低下している実態が浮かび上がりました。農林水産省は「中国製ギョウザ中毒事件や、世界的な食糧危機などが影響したのではないか」と分析しています。

この調査で「国産品を選ぶ」と答えた人は二〇〇〇年の調査より七・一ポイント増えています。国産品を選択する際の基準は「安全性」と答えた方が最も多く、「輸入品を選ぶ」は、わずか〇・五％と、国産品へのこだわりが強く表れた調査でした。二〇〇九年は食への信頼回復ができる年になってほしいです。

(松原委員)

何と穏やかな年明けだろう。

そのような中、五日に別海消防団の出初め式が行われました。地元での新年会と毎年重なっており、初めての参加でした。団員の系乱れぬ行動、点検、分列行進に身が引き締まる思いで新年の行事としての意義をかみ締めることが出来ました。別会場で永年勤続、功労章表彰が行われ、隊員の日常の積極的な訓練、防火活動への参加に頭が下がる思いをしました。

そして、その苦勞と努力が町民の生命、財産を守っていることを再認識しました。

それにしても、暮れから正月にかけて火災が本当に多かった。寝る前に、あの消防の出初め式を思いおこし、火の用心に気を配る昨今です。

(安部委員)

携帯電話は車を止めて！冬道はスピードダウンと車間距離